

アジア言語学科 韓国語専攻 カリキュラム・マップ

- : 必修科目
- : 選択必修科目
- : 自由選択科目
- 【CP】 : 対応するカリキュラム・ポリシーの項目

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基盤教育科目		【CP1】 大学での学びをより深化させ効果的に機能させるためのアカデミック・リテラシーに関する基本的な能力を修得する 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」：アカデミック・ライティング、デジタル・シチズンシップ、クリティカルリーディング、数的思考、キャリアデザインに関する能力を修得		【CP1】 キャリア形成と学問と社会とを結びつけ、継続的に学ぶ力を涵養する 「キャリアデザインⅠ（基礎）」					
	教養科目	【CP1】 人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶ 人文科学分野【歴史学・哲学・倫理学・宗教学・文学・美術史学・言語学・心理学・教育学 など】 社会科学分野【社会学・法学・憲法・政治学・経済学・経営学・統計学 など】 自然科学分野【化学・物理学・生物学・自然科学 など】							
外国語科目	英語科目	【CP2】 基盤となる英語力を身につける 「Freshman English」「Sophomore English」「総合英語」 「時事英語」「ビジネス英語」「Oral Communication」「Language Lab」 TOEIC演習科目 など				【CP2】 実践的な英語運用能力を養うとともに、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働能力などを育成 「English for Multicultural Communication」			
	地域言語科目	【CP2】 総合的な専攻語の運用能力を養う 「韓国語基礎」				【CP2】 より高度で実践的かつ専門的な言語の運用能力を養う 「韓国語口頭表現」「韓国語通訳/翻訳法」「韓国語上級会話」「時事韓国語」「ビジネス韓国語」など			
研究科目	専攻指定研究科目	【CP3・4】 各年次に配置された「導入」「基礎」「発展」の履修、および2年次前期の研究コースの選択により、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得する 導入（コース共通必修） 基礎（コース共通） 研究コース 発展（コース指定） 「アジア研究入門」 「韓国文化概論」「韓国史概論」 言語研究 「韓国語学概論」「日韓対照言語研究」「韓国語社会言語学」「韓国語史」「日韓コミュニケーション研究」など 地域社会研究 「日韓関係史」「韓国映像文化論」「韓国近代史」「韓国企業研究」「韓国現代文学研究」「韓国の宗教・社会」など 1年次は研究コースの選択に向け、全コース共通の導入科目、基礎科目を中心に履修。2年次以降は、自身の選択した研究コースのコース指定科目を中心に履修							
	研究科目（その他）	【CP3・4】 学科の枠を越えた横断的かつ専門的な学びを提供する 他学科の学科・専攻指定科目、学科・専攻に属さない研究科目から選択 児童英語教員養成科目、日本語教員養成科目、通訳・翻訳科目、コミュニケーション系科目、文化・芸術系科目、国際・法律系科目、政治経済・地域社会系科目 など幅広い分野の科目							
演習科目・卒業研究	演習科目					【CP4】 学術的な観点から研究成果をまとめる（研究演習） 【CP4】 実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる（応用演習） 3年次（推奨）または4年次に、研究演習または応用演習のいずれかを修得 「研究演習」：卒業研究（卒業論文・卒業制作）、ゼミ論文・ゼミプロジェクトの完成を目指す 「応用演習」：レポート・報告会でのプレゼンテーション等により成果をまとめる			
	卒業研究					【CP4】 「研究演習」の成果を「卒業研究」としてまとめる			
自由選択科目		選択外国語科目（中国語 スペイン語 フランス語 ドイツ語 ロシア語 イタリア語 アラビア語 ポルトガル語 ベトナム語 インドネシア語 タイ語） キャリア科目、海外実地研修、トライ外国語科目、検定試験の単位認定 など また、各科目群の要件を超えて修得した単位も自由選択科目として卒業要件に充当							

神田外語大学 建学の理念 「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

教育目的（育てたい人物像）

多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度な言語運用能力を身につけさせるとともに、専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識等を教授することにより、豊かな教養と真のコミュニケーション能力を身につけた国際社会に貢献しうる自立した人材を養成することを目的とする。

アジア言語学科 ディプロマ・ポリシー【DP1～DP4】
(外国語学部ディプロマ・ポリシー(1)～(7)と対応)

【DP1】 より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力と、多様な学問領域にわたる幅広い教養
(外国語学部DP(1)と対応)

- ① 大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー
- ② 「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養

【DP2】 専攻言語の高度な運用能力及び国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力
(外国語学部DP(2)と対応)

- ① 高度な語学運用能力に加え、専攻言語地域に関連する多岐にわたる教養、及び専攻言語そのものを多面的に考察し、その本質を理解する力
- ② 地域・社会・世界との主体的な関わりにおいて、お互いを理解し合うためのコミュニケーションの基盤となる実践的な英語運用能力

【DP3】 「専攻語及び専攻語圏をはじめとするアジアの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」
(外国語学部DP(3)、(7)と対応)

- ① 専攻言語が使用される国・地域における歴史、文化、社会、政治、経済の特質を理解するとともに、アジアのダイナミズムに目を向け、広い視野で共生のあり方を考察する力
- ② アジアの多様性に対する理解を深め、互いに協力しながら平和と繁栄に貢献する力

【DP4】 「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」
(外国語学部DP(4)、(5)、(6)と対応)

- ① 専門分野における学びを有機的に結びつけて体系的な知識を創出し、多角的な観点から諸事象を捉え、それをもとに批判的な議論ができる力
- ② 探求心を持ち、今日の国際社会が直面する諸問題を自分で発見し、国際的な視野をもって解決に向けて主体的に行動できる力
- ③ 自身の資質や能力を継続的に発展させることにより、国際社会を舞台としたキャリアを自立的にデザインする力

アジア言語学科 中国語専攻 カリキュラム・マップ

- : 必修科目
- : 選択必修科目
- : 自由選択科目
- 【CP】 : 対応するカリキュラム・ポリシーの項目

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基盤教育科目		【CP1】 大学での学びをより深化させ効果的に機能させるためのアカデミック・リテラシーに関する基本的な能力を修得する 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」：アカデミック・ライティング、デジタル・シチズンシップ、クリティカルリーディング、数的思考、キャリアデザインに関する能力を修得		【CP1】 キャリア形成と学問と社会とを結びつけ、継続的に学ぶ力を涵養する 「キャリアデザインⅠ（基礎）」					
	教養科目	【CP1】 人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶ 人文科学分野【歴史学・哲学・倫理学・宗教学・文学・美術史学・言語学・心理学・教育学 など】 社会科学分野【社会学・法学・憲法・政治学・経済学・経営学・統計学 など】 自然科学分野【化学・物理学・生物学・自然科学 など】							
外国語科目	英語科目	【CP2】 基盤となる英語力を身につける 「Freshman English」「Sophomore English」「総合英語」			【CP2】 実践的な英語運用能力を養うとともに、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働能力などを育成 「English for Multicultural Communication」				
	地域言語科目	【CP2】 総合的な専攻語の運用能力を養う 「中国語基礎」			【CP2】 より高度で実践的かつ専門的な言語の運用能力を養う 「中国文学講読」「中国語討論・スピーチ」「時事中国語」				
研究科目	専攻指定研究科目	【CP3・4】 各年次に配置された「導入」「基礎」「発展」の履修、および2年次前期の研究コースの選択により、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得する							
	研究科目（その他）	【CP3・4】 学科の枠を越えた横断的かつ専門的な学びを提供する 他学科の学科・専攻指定科目、学科・専攻に属さない研究科目から選択 児童英語教員養成科目、日本語教員養成科目、通訳・翻訳科目、コミュニケーション系科目、文化・芸術系科目、国際・法律系科目、政治経済・地域社会系科目 など幅広い分野の科目							
演習科目・卒業研究	演習科目				【CP4】 学術的な観点から研究成果をまとめる（研究演習） 【CP4】 実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる（応用演習） 3年次（推奨）または4年次に、研究演習または応用演習のいずれかを修得 「研究演習」：卒業研究（卒業論文・卒業制作）、ゼミ論文・ゼミプロジェクトの完成を目指す 「応用演習」：レポート・報告会でのプレゼンテーション等により成果をまとめる				
	卒業研究				【CP4】 「研究演習」の成果を「卒業研究」としてまとめる				
自由選択科目		選択外国語科目（スペイン語 韓国語 フランス語 ドイツ語 ロシア語 イタリア語 アラビア語 ポルトガル語 ベトナム語 インドネシア語 タイ語） キャリア科目、海外実地研修、トライ外国語科目、検定試験の単位認定 など また、各科目群の要件を超えて修得した単位も自由選択科目として卒業要件に充当							

神田外語大学 建学の理念 「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

教育目的（育てたい人物像）
多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度な言語運用能力を身につけさせるとともに、専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識等を教授することにより、豊かな教養と真のコミュニケーション能力を身につけた国際社会に貢献しうる自立した人材を養成することを目的とする。

アジア言語学科 ディプロマ・ポリシー【DP1～DP4】
(外国語学部ディプロマ・ポリシー(1)～(7)と対応)

【DP1】 より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力と、多様な学問領域にわたる幅広い教養
(外国語学部DP(1)と対応)
①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー
②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養

【DP2】 専攻言語の高度な運用能力及び国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力
(外国語学部DP(2)と対応)
①高度な語学運用能力に加え、専攻言語地域に関連する多岐にわたる教養、及び専攻言語そのものを多面的に考察し、その本質を理解する力
②地域・社会・世界との主体的な関わりにおいて、お互いを理解し合うためのコミュニケーションの基盤となる実践的な英語運用能力

【DP3】 専攻語及び専攻語圏をはじめとするアジアの歴史・文化・社会に関する専門知識と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」
(外国語学部DP(3)、(7)と対応)
①専攻言語が使用される国・地域における歴史、文化、社会、政治、経済の特質を理解するとともに、アジアのダイナミズムに目を向け、広い視野で共生のあり方を考察する力
②アジアの多様性に対する理解を深め、互いに協力しながら平和と繁栄に貢献する力

【DP4】 「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」
(外国語学部DP(4)、(5)、(6)と対応)
①専門分野における学びを有機的に結びつけて体系的な知識を創出し、多角的な観点から諸事象を捉え、それをもとに批判的な議論ができる力
②探求心を持ち、今日の国際社会が直面する諸問題を自分で発見し、国際的な視野をもって解決に向けて主体的に行動できる力
③自身の資質や能力を継続的に発展させることにより、国際社会を舞台としたキャリアを自立的にデザインする力

アジア言語学科 インドネシア語専攻／ベトナム語専攻／タイ語専攻 カリキュラム・マップ

- : 必修科目
- : 選択必修科目
- : 自由選択科目
- 【CP】 : 対応するカリキュラム・ポリシーの項目

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基盤教育科目		【CP1】大学での学びをより深化させ効果的に機能させるためのアカデミック・リテラシーに関する基本的な能力を修得する 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」: アカデミック・ライティング、デジタル・シチズンシップ、クリティカルリーディング、数的思考、キャリアデザインに関する能力を修得		【CP1】キャリア形成と学問と社会とを結びつけ、継続的に学ぶ力を涵養する 「キャリアデザインⅠ(基礎)」					
				【CP1】人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶ 人文科学分野 [歴史学・哲学・倫理学・宗教学・文学・美術史学・言語学・心理学・教育学 など] 社会科学分野 [社会学・法学・憲法・政治学・経済学・経営学・統計学 など] 自然科学分野 [化学・物理学・生物学・自然科学 など]					
外国語科目	英語科目	【CP2】基盤となる英語力を身につける 「Freshman English」 「Sophomore English」 「アカデミック英語」 「Media English」				【CP2】実践的な英語運用能力を養うとともに、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働力を育成 「English for Multicultural Communication」			
	地域言語科目	【CP2】総合的な専攻語の運用能力を養う 「インドネシア語基礎／ベトナム語基礎／タイ語基礎」				【CP2】より高度で実践的かつ専門的な言語の運用能力を養う 「インドネシア語応用／ベトナム語応用／タイ語応用」 「インドネシア語総合／ベトナム語総合／タイ語総合」			
研究科目	専攻指定研究科目	【CP3・4】各年次に配置された「導入」「基礎」「発展」の履修、および2年次前期の研究コースの選択により、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得する							
		導入(コース共通必修)	導入(コース共通)	研究コース	基礎(コース共通)	発展(コース指定、一部共通)		I Topics in Language and Culture	
		「アジア研究入門」、 自専攻言語の 「インドネシア／ベトナム／タイ研究入門」	「東南アジア研究入門」 「東南アジア地域研究」 「東南アジア宗教論」	言語文化研究 地域社会研究	自専攻言語地域(インドネシア／ベトナム／タイ)の 「民族・地理」「歴史」「文化・芸術」 「宗教・社会」「政治・経済」など	東南アジアの「芸術」「宗教と文化」「言語概論」、 他専攻言語地域の「文化・芸術」「民族・地理」 東南アジアの「歴史」「社会論」「政治経済論」、 他専攻言語地域の「歴史」「宗教・社会」「政治・経済」など			
研究科目(その他)	【CP3・4】学科の枠を越えた横断的かつ専門的な学びを提供する 他学科の学科・専攻指定科目、学科・専攻に属さない研究科目から選択 児童英語教員養成科目、日本語教員養成科目、通訳・翻訳科目、コミュニケーション系科目、文化・芸術系科目、国際・法律系科目、政治経済・地域社会系科目 など幅広い分野の科目								
演習科目・卒業研究	演習科目					【CP4】学術的な観点から研究成果をまとめる(研究演習) 【CP4】実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる(応用演習) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習または応用演習のいずれかを修得 「研究演習」: 卒業研究(卒業論文・卒業制作)、ゼミ論文・ゼミプロジェクトの完成を目指す 「応用演習」: レポート・報告会でのプレゼンテーション等により成果をまとめる			
	卒業研究					【CP4】「研究演習」の成果を「卒業研究」としてまとめる			
自由選択科目	選択外国語科目(中国語 ス페인語 韓国語 フランス語 ドイツ語 ロシア語 イタリア語 アラビア語 ポルトガル語 ベトナム語 インドネシア語 タイ語) キャリア科目、海外実地研修、トライ外国語科目、検定試験の単位認定 など また、各科目群の要件を超えて修得した単位も自由選択科目として卒業要件に充当								

神田外語大学 建学の理念 「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

教育目的(育てたい人物像)
多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度な言語運用能力を身につけさせるとともに、専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識等を教授することにより、豊かな教養と真のコミュニケーション能力を身につけた国際社会に貢献しうる自立した人材を養成することを目的とする。

アジア言語学科 ディプロマ・ポリシー
【DP1~DP4】
(外国語学部ディプロマ・ポリシー(1)~(7)と対応)

【DP1】より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力と、多様な学問領域にわたる幅広い教養
(外国語学部DP(1)と対応)
①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー
②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養

【DP2】専攻言語の高度な運用能力及び国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力
(外国語学部DP(2)と対応)
①高度な語学運用能力に加え、専攻言語地域に関連する多岐にわたる教養、及び専攻言語そのものを多面的に考察し、その本質を理解する力
②地域・社会・世界との主体的な関わりにおいて、お互いを理解し合うためのコミュニケーションの基盤となる実践的な英語運用能力

【DP3】「専攻語及び専攻語圏をはじめとするアジアの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」
(外国語学部DP(3)、(7)と対応)
①専攻言語が使用される国・地域における歴史、文化、社会、政治、経済の特質を理解するとともに、アジアのダイナミズムに目を向け、広い視野で共生のあり方を考察する力
②アジアの多様性に対する理解を深め、互いに協力しながら平和と繁栄に貢献する力

【DP4】「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」
(外国語学部DP(4)、(5)、(6)と対応)
①専門分野における学びを有機的に結びつけて体系的な知識を創出し、多角的な観点から諸事象を捉え、それをもとに批判的な議論ができる力
②探求心を持ち、今日の国際社会が直面する諸問題を自分で発見し、国際的な視野をもって解決に向けて主体的に行動できる力
③自身の資質や能力を継続的に発展させることにより、国際社会を舞台としたキャリアを自立的にデザインする力

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

アジア言語学科			
外国語学部 ディプロマ・ポリシー	アジア言語学科 ディプロマ・ポリシー	アジア言語学科カリキュラム・ポリシー（教育内容）	科目群
(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」 ①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー ②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」を修得するため、以下のカリキュラムを提供する。1年次から2年次に「基礎教育科目」として「基礎演習Ⅰ、Ⅱ」「キャリアデザインⅠ（基礎）」を配置する。「基礎演習Ⅰ、Ⅱ」では大学での学び(特に教養科目、研究科目、演習科目)をより深化させ、効果的に機能させるために「アカデミック・ライティング」「デジタル・シブズンシップ」「クリティカル・リーディング」「教養的思考」及び「キャリアデザイン」に関する能力を修得するための機会を提供する。「キャリアデザインⅠ（基礎）」では過去・現在・未来に繋がる個人のキャリア形成を学問と社会との接統の視点から継続的に学ぶ力(生涯学習力)を涵養するカリキュラムを編成する。また、各年次に「外国語科目(選択外国語科目)」及び「教養科目」を配置し、12程度の言語のほか、人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶカリキュラムを提供する。	基礎教育科目 教養科目
(2)高度な言語運用能力	(2)専攻言語の高度な運用能力及び国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力 ①高度な語学運用能力に加え、専攻言語地域に関連する多岐にわたる教養、及び専攻言語そのものを多面的に考察し、その本質を理解する力 ②地域・社会・世界との主体的な関わりにおいて、お互いを理解し合うためのコミュニケーションの基盤となる実践的な英語運用能力 ③各専攻における言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の外国語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。 <中国語、韓国語> 卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B2レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同C1レベル相当に到達することを目標とする。 <インドネシア語、ベトナム語、タイ語> 卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同B2レベル相当に到達することを目標とする。 <英語(全専攻共通)> 卒業までにCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同B2レベル相当以上に到達することを目標とする。 各専攻言語の技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。	(2)-1「専攻言語(中国語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語)の高度な運用能力」を修得するため、各年次に「地域言語科目」を配置する。1年次から2年次では、正確な発音、文法、語彙、会話表現等の専攻言語の基礎を徹底的に学ぶためのトレーニング科目により、総合的な専攻言語の運用能力を養うカリキュラムを提供する。3年次から4年次では、スピーチやプレゼンテーションさらには通訳・翻訳・討論等を取り入れた実践科目や専攻言語地域のさまざまなテーマを扱うコンテンツベース科目により、より高度で実践的な専攻言語運用能力を養うカリキュラムを提供する。 (2)-2「国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力」を修得するため、1年次から2年次では「Freshman English」、「Sophomore English」、「アカデミック英語」、「総合英語」、「Media English」などの科目を通じて、基盤となる英語力を身に付けるカリキュラムを提供する。また、3年次から4年次では、さまざまなテーマについて英語で学ぶ「English for Multicultural Communication」などの科目を通じて、実践的な英語運用能力を養うとともに、グローバル社会における課題を解決するための思考力や協働能力などを育成するカリキュラムを提供する。	地域言語科目 英語科目
(3)専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識と理解	(3)「専攻言語及び専攻言語圏をはじめとするアジアの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」	(3)「専攻言語及び専攻言語圏をはじめとするアジアの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」を修得するため、各年次に「導入」「基礎」「発展」の「専攻指定研究科目」を配置する。同時に「言語研究(中国語専攻、韓国語専攻)／言語文化研究(インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻)」及び「地域文化研究(中国語専攻)／地域社会研究(韓国語専攻、インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻)」に区分された研究コースよりいずれか1コースを選択して指定の研究科目を履修することにより、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得するカリキュラムを提供する。また、専攻内の研究コース、あるいは学科専攻の枠を超えて幅広く学ぶことができるようカリキュラムを編成する。	学科指定研究科目
(7)異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢	①専攻言語が使用される国・地域における歴史、文化、社会、政治、経済の特質を理解するとともに、アジアのダイナミズムに目を向け、広い視野で共生のあり方を考察する力 ②アジアの多様性に対する理解を深め、互いに協力しながら平和と繁栄に貢献する力	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」	研究科目(その他)
(4)多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」を修得するため、「専攻指定研究科目」に加えて全学科共通の「研究科目(その他)」を設け、多角的な視点と多面的な知識を養う。その上で、本学での学びの成果を可視化する機会として、3年次から4年次に「演習科目」を配置する。「演習科目」は「研究演習」と「応用演習」からなる。「研究演習」では学術的な観点から研究成果をまとめる。「応用演習」では、実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる。「研究演習」の成果は、4年次に「卒業研究」としてまとめることができる。	演習科目
(5)論理的かつ批判的な思考力	①専門分野における学びを有機的に結びつけて体系的な知識を創出し、多角的な観点から諸事象を捉え、それをもとに批判的な議論ができる力 ②探求心をもち、今日の国際社会が直面する諸問題を自分で発見し、国際的な視野をもって解決に向けて主体的に行動できる力	(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」	卒業研究
(6)社会的な課題の発見と解決に貢献する力	③自身の資質や能力を継続的に発展させることにより、国際社会を舞台としたキャリアを自立的にデザインする力		

<技能別語学到達目標>

中国語専攻

中国語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌や文学作品などを読み、大意を理解することができる。 ・図表や説明文などを読み、必要な情報を得たり、概要や要点を理解することができる。
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な話題のやや複雑なテキストや、抽象的な話題について、主要な内容を聞き取り、理解することができる。 ・映画やテレビドラマの内容を聞き取り、おおよそ理解することができる。
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が想定していない状況においても、相手の協力を得られれば、ある程度創造的なやり取りができる。
	発表	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りのことや関心のあることについて、事前に準備をすればスムーズにプレゼンテーションやスピーチができる。
書く		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りのことや関心のあることについて、ある程度まとまった文章を書くことができる。 ・さまざまな事象について多面的、かつより正確で適切に書くことができる。
検定等		HSK筆記5級・口頭試験高級を目指す CEFR B2-C1レベル相当

韓国語専攻

韓国語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事など漢字語の多いテキストを自由に読み、理解することができる。 ・辞書を用いることで、小説など、表現の複雑な文学的文章を読み、理解することができる。
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースや演説などの時事的で、社会的に高度な話題をおおよそ理解することができる。 ・映画やテレビドラマにおける、多彩で口語的な表現を聞き取り、おおよそ理解することができる。
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> ・話の場面に応じた適切な文体を用いて、公式的で抽象的な話題から、私的で日常的な話題についてのやり取りができる。
	発表	<ul style="list-style-type: none"> ・公的もしくは学術的な場面において、高度な内容のプレゼンテーションやスピーチができる。
書く		<ul style="list-style-type: none"> ・書きことばにみられるフォーマルな文章や、メッセージ性を持った硬い文章を書くことができる。 ・話しことばにみられるインフォーマルな文章や、メールやSNSなど形式に則らない文章まで自由に書くことができる。
検定等		「ハングル」能力検定試験2級、韓国語能力試験(TOPIK)5～6級を目指す CEFR B2-C1レベル相当

インドネシア語専攻

インドネシア語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度高度な内容の原文の読み物を、辞書なしで読むことができる。 ・自分に必要な文献や資料などを探し出し、それらの内容の比較ができる。
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシアで放送されているテレビなどの内容をおおよそ理解できる。 ・会議や会話の中で相手(話し手)の意図を正確に理解して対応できる。
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> ・授業外の環境でも自分の意思を正確に伝えられ、相手の話す内容についても理解し、反応できる。
	発表	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションや会議の場で、自分の意見を順序立てて正確な発音と文法で伝えられる。
書く		<ul style="list-style-type: none"> ・公式文書(高度な文章)を書くことができる。 ・求められる内容や状況に応じて使い分けことが出来る。
検定等		インドネシア語技能検定試験B級以上を目指す CEFR B1-B2レベル相当

ベトナム語専攻

ベトナム語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な論説、記事を読むことができる。 ・辞書を引きながら、詩やエッセーなど文学作品を味わうことができる。
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースを聞き、ある程度理解できる。映画の内容をおおよそ理解することができる。 ・大学の講義の内容を聞き取ることができ、理解することができる。
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の意見や意思を、自然体で話すことができる。 ・日常生活を離れたテーマについても高度な会話表現ができる。
	発表	<ul style="list-style-type: none"> ・あるテーマについて筋道の立った発表・プレゼンテーションを行うことができる。
書く		<ul style="list-style-type: none"> ・内容豊かで高度な文章表現ができる。 ・テーマに沿った短い論説(1,000字程度)を書くことができる。
検定等		iVPT(国際ベトナム語能力試験)B2以上を目指す CEFR B1-B2レベル相当

タイ語専攻

タイ語		
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> ・公文書を含む書類や一般の書籍・新聞などを読んで内容を適切に理解することができる。 ・さまざまな文献から情報収集し、自分なりに分析できる。
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の意図を正確に解釈し、誤解なく意思疎通できる。 ・会議など公式的な場で、発表や話し合いの内容を無理なく聞き取れる。
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や相手との関係性などを考慮し、発話状況に即した話し方ができる。
	発表	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭な発音で、誤解を与えない話し方ができる。 ・面接や会議などの公式的な場で、論理的に発言できる。
書く		<ul style="list-style-type: none"> ・公文書を含む書類や日常生活に必要な書類の文面をそれぞれの用途に応じて正確に書くことができる。 ・相手のことを配慮した書き方ができる。
検定等		チュラロンコン大学シリントン・タイ語研究所のタイ語能力試験(CUTFL)C1を目指す CEFR B1-B2レベル相当